

ありがとう45年 未来へとつなぐ酒田の宝物

館蔵品展 その2 ー歴史資料ー



酒田尋常高等小学校(現酒田市総合文化センター)校庭での体操風景写真/明治後期



扉の裏に本間光丘の名前が書いてある御貸金方帳筆筒/明和4年(1767)



明治41年(1908)に酒田に電話が開通し、酒田郵便局内に設けられた電話交換室を写した写真

令和5年

6月8日(木)～8月1日(火)

会期中無休

開館時間◆午前9時～午後4時30分

入館料◆一般200円、高校生90円

小中学生50円(市内小中学生は土日無料)



鉄道開通を祝う花火大会のプログラム/大正4年(1915)

酒田市立資料館

〒998-0046 山形県酒田市一番町8-16

TEL・FAX 0234-24-6544

✉ sakata-city-museum@city.sakata.yamagata.jp



ありがとう45年 未来へつなぐ酒田の宝物

館蔵品展 その2 - 歴史資料 -

昭和53年(1978)5月18日に開館した酒田市立資料館も、令和5年9月30日をもって閉館することになりました。今後は、酒田市立光丘文庫とともに、歴史的公文書も合わせ郷土の資料を収集、保管、展示していく施設として、令和6年度に酒田市総合文化センターの市立図書館跡に新たに開館する計画となっております。

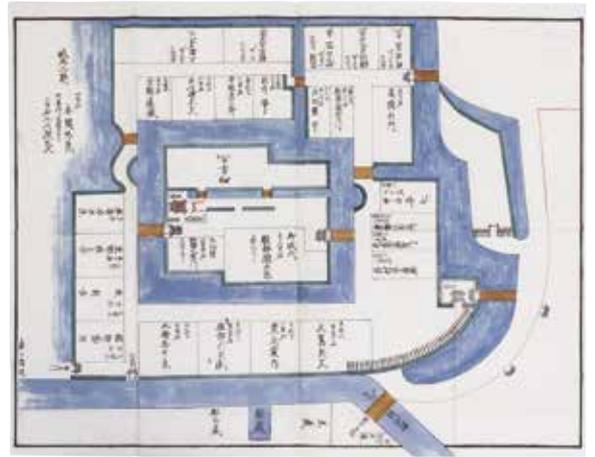
昭和51年(1976)10月29日に発生した酒田大火は、中町の中心商店街から出火し、新井田川まで22.5ha、1,774棟を焼き尽くす未曾有の災害となりました。

当資料館は大火復興の記念として、その被災地跡にいち早く建設されました。それ以前は、歴史的な資料を総合的に収集、保管、展示する施設がなく、火災や生活様式の変化などで失われていく危険性もあることから、地元の歴史や文化を伝える資料を後世に伝えていくことを目的に作られた施設です。開設以来、市民の皆様や研究者の方、小中高生・大学生などの学習や調査の場としても親しまれ、利用されてきました。

この45年間の入館者数は延べ37万人となり、寄贈、寄託、購入によって現在、約13,000件、60,000点余りの資料を収蔵しております。

収蔵資料は、当地域の歴史・民俗・産業・文化を紐解くための資料として次世代にも残していかなければならない貴重な宝物です。当資料館では最後の企画展となる本展では、「その1 - 文化・娯楽資料 -」「その2 - 歴史資料 -」「その3 - 人物資料 -」の3回に分けて、展示する機会の少なかった貴重な資料を中心とした館蔵品を紹介します。

今回は、亀ヶ崎城時代の酒田の古絵図をはじめ、電灯の点灯、電話の開通、鉄道敷設などにより近代化が進んだ明治以降の酒田の歴史を伝える資料や古写真、明治～昭和の中心市街図などを展示します。



亀ヶ崎御城内之図／嘉永2年(1849)



亀崎御城内御塩焔御土蔵棟札／文化元年(一八〇四)

素懸紺糸威最上胴丸／江戸期(酒田市立光丘図書館旧蔵資料)



日中戦争がはじまった昭和12年(1937)、酒田から戦地に出征した人に贈られた、寄せ書き入りの日章旗



酒田上水道竣工の記念品として、酒田の名工・斎藤兼吉が制作した桐火鉢／昭和5年(1930)

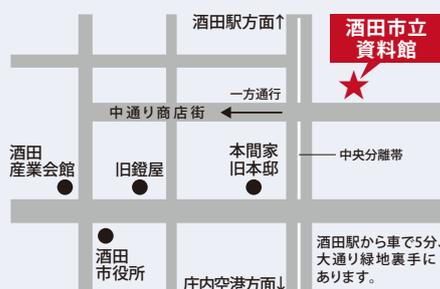
展示関連イベント

- 資料館調査員による展示解説
日時／6月24日(土)午前10時～(1時間程度)
- 昭和の酒田をスライドで見よう
日時／7月8日(土)
①午前11時～ ②午後1時30分～(各回30分)

会場／酒田市立資料館1階企画展示室
料金／無料(入館料別途必要)
定員／各15名
※駐車場に限りがありますので、申し込み時にお問い合わせください。
申込／6月8日から受け付けます。

問 Tel 0234-24-6544

酒田市立資料館



〈アクセス〉

- ◆JR酒田駅から庄内交通バス(約9分)「大通り商店街」下車 徒歩1分
- ◆庄内空港からシャトルバス(約30分)「中町」下車徒歩5分
- ◆日本海東北自動車道「酒田中央IC」より約10分(駐車場あり)

次回予告

ありがとう45年
未来へつなぐ酒田の宝物
館蔵品展その3 - 人物資料 -
令和5年8月5日(土)
～9月30日(土)